

市電を活かしたまちづくりの取り組み

市電沿線フォトラリー

昨年10月から11月にかけて、市電の会（下囲み記事参照）により「市電沿線文化がかおるフォトラリー」が実施されました。これは、渡辺淳一文学館やギャラリー土土どっこい窯など市電沿線の文化施設8カ所を巡って写真を撮るというもので、市電沿線の魅力に触れてもらおうと中央区との協働で行われたものです。



〔詳細〕 中央区地域振興課 ☎ (231) 2400

市電フェスティバルの開催



昨年8月に電車事業所と隣接する伏見小学校サブグラウンドを会場に第4回市電フェスティバルが行われました。

これは、中央区のシンボルである市電をテーマにしたイベントを実施することにより、市電に対する愛着や地域の活性化を図ることを目的に開催しています。

カレンダーでわが街再発見

西創成地区では、西創成親和会をはじめ関係諸団体と西創成まちづくりセンターが連携し、市電やまち並みのカレンダーを地域配布用に作成しています。これは、「わが街西創成」の魅力再発見と地域の発展を目的とするまちづくりの取り組みです。



〔詳細〕 西創成まちづくりセンター ☎ (521) 2384



イルミネーション電車が走る



市電の会、札幌市および会の目的に賛同する団体などで構成する路面電車沿線活性化協議会が、沿線の活性化を図ることを目的に、路面電車や電車停留所のイルミネーション装飾を行いました。



〔詳細〕 交通企画課 ☎ (211) 2492

◆ ◆ ◆
 風情がある乗り物として、多くの市民が愛着を感じている路面電車。
 中央区のシンボルである路面電車を、どのようにまちづくりに活かしていけばよいか皆さんも一緒に考えてみましょう。



☎ (231) 2400 (内線 219・253)
 くり調整担当)

〔申込・詳細〕 市電の会事務局 (中央区地域振興課まちづくり調整担当)
 「市電の会」紹介
 市電の会は、区内の連合町内会や老人クラブ、商店街振興組合、賛助会員などで構成されています。
 市電が親しまれ、愛されるように、さまざまな事業を行っています。
 年一回発行する「市電のふるさと」では、会の活動や路面電車に関する情報などを掲載しています。市電の好きな方なら、どなたでも入会できます。